

「With コロナ時代における未来アイデア
応募用紙

○応募者
氏名・法人

・団体名 (法人・団体の場合)	
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容

アイデア名	携帯飛沫感染防止衝立
-------	------------

提案の概要(200字以内)
コンパクトに畳むことが出来る壁面によって構成されたことを特徴とする、携帯飛沫防止衝立。

提案のきっかけ ※様式自由
飲食店・公共施設、家庭内においても感染の危険性が上がる場面はあります。空間が広い程、感染経路を予測することが困難になります。衝立は飛沫感染を防ぐだけでなく、除菌後再汚染されることも防ぎます。ですがアクリル板などの設置型の衝立は普及していません。普及しない理由は色々あると思いますが人によっては衝立を好まない人や、場合によっては邪魔になることもあり、事前に施設側で設置することを躊躇することもあると思います。そこで、必要を感じる者が個人用の衝立を、出先であっても必要に応じて手軽に設置できないか考えました。

提案の狙い(実施することで解決される社会的課題または創出される価値) ※様式自由
現在、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、飛沫防止のための衝立は様々な種類が提案、実用化されているが、鞆にいれて持ち歩くなど携帯性に優れた衝立は無く、移動先の感染対策に任せるしかできなかった。また、パソコン業務は長時間画面に集中することから、不意に飛沫の飛来に気付かず感染してしまう事もあると思います。モバイルパソコンの普及を考えると携帯できる衝立は、感染防止に有効と考えます。

実現可能性や実現に必要な要素等 ※様式自由

既にある技術を応用するので実現は容易です。いくら携帯性が良くても、そもそも感染安全エリアを確保する習慣が今までありません。学校給食や職場の食堂などから、広めていく必要があるかもしれません。

提案の詳細 ※様式自由

柔軟で丸めることが出来る、または伸縮可能な支持材と布などのたたむことが出来る面によって構成された構造を持つコンパクトに畳むことが出来る壁面によって構成された飛沫防止衝立。

壁面は試作品にある2枚に限らず1枚以上で構成され、必要に応じて増やします。

参考資料として試作品の画像を添付します。

試作品の説明

- 1、 閉じてあるゴムを外し、布製の壁面2枚をねじりほどいて広げます。
- 2、 壁面2枚をファスナーで連結します。
- 3、 壁面をハの字に広げ、机に立てます。
- 4、 必要に応じて、吸盤、底面を取り付け固定します。
- 5、 組立画像



ねじって畳んだ状態の、携帯飛沫感染防止衝立。



柔軟な金属枠と伸縮性のある布で構成された遮蔽壁2枚と、台座1枚。



吸盤で固定した状態



台座に固定した状態



吸盤



台座



ファスナーで連結した様子

- ※ 各記入欄は適宜拡幅して構いません。
- ※ 様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又は PDF 形式)で提出していただいても構いません。
- ※ その他、任意の参考資料も提出いただけます。
- ※ 応募いただいた時点で、上記内容(氏名、メールアドレス及び電話番号を除く応募用紙に記載されたすべての内容)の取扱いを県に一任するものとし、県が上記内容を第三者へ情報提供することに同意したものとします。